

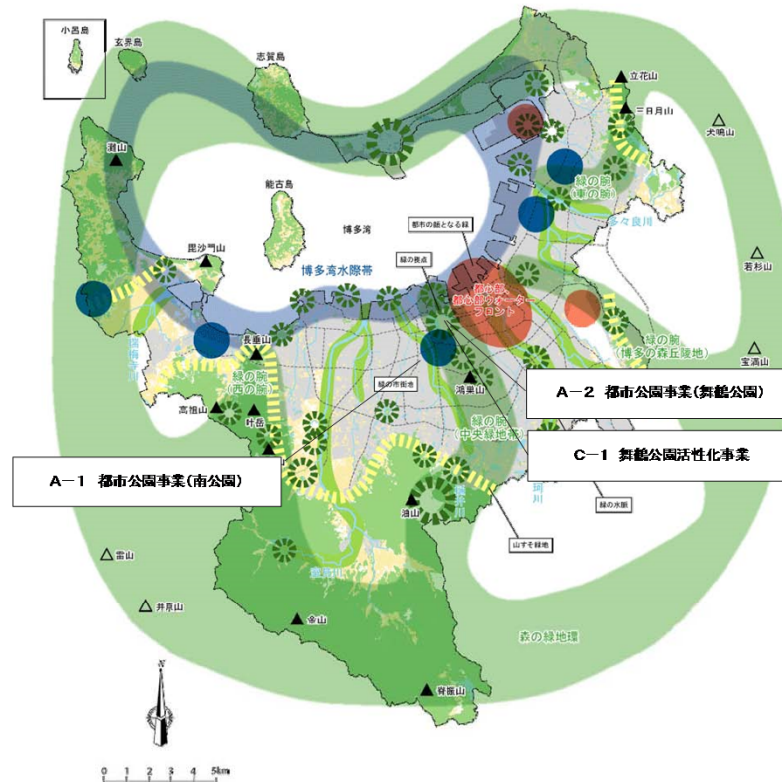
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	観光振興拠点公園の整備		
計画期間	平成27年度～平成31年度	事後評価実施時期	令和元年度	全体事業費	4,570百万円	国費率	1/2

1)事業の実施状況	対象事業	要素事業名					
		A.基幹事業	○都市公園事業(南公園) ○都市公園事業(舞鶴公園)				
	B.関連社会資本整備事業	-					
	C.効果促進事業	○舞鶴公園活性化事業					
	その他関連する事業	-					
進捗状況	A.基幹事業	要素事業名		事業内容(延長・面積等)	事業進捗(令和元年度末時点)	次期計画	
		○都市公園事業(南公園)		エントランス複合関連施設整備	完了	-	
		○都市公園事業(舞鶴公園)		用地取得(0.02ha)	一部完了	-	
2)事業の効果発現状況	成果目標の達成状況 ※算定対象	指標名	当初現況値 (H27年度)	目標値 (H31年度)	実績値 (H31年度予定)	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因	
		動植物園の年間利用者数	92.8万人	95.6万人	83.2万人	H25年度にアジア熱帯の溪谷エリアが供用開始され、H27年度は利用者が92.8万人に達し、この値を基準として目標値を設定していたが、その後は減少傾向にあり、H29年度の利用者数は80.4万人であった。エントランス複合施設の供用が開始したH30年度においては、利用者数が82.6万人と増加しているため、今後も増加していくことが期待される。	
効果目標以外の要素事業の効果発現状況 (定性的な効果)	・動植物園再生事業を進めることで、来園者のレクリエーションの場の提供。 ・セントラルパーク事業により、市民のみならず観光に資する空間の提供。						
	効果促進事業の効果発現状況 (定性的な効果)						
3)その他	今後の方針	・動植物園再生計画に基づき、新しい時代にふさわしい市民に親しまれる魅力的な動植物園へと再生を図る。 ・セントラルパーク構想に基づき継続して、大濠公園と舞鶴公園の一体的な活用を図り、県民・市民の憩いの場、歴史、芸術文化、観光の発信拠点としての公園づくりを目指していく。					

「観光振興拠点公園の整備」の成果概要

事業の目的	成果指標	当初現況地	目標値	実績値 (H31年度予定)
福岡市の財産である歴史的、自然的、文化的資源を活かした観光振興の拠点となる公園を整備し、市民や外国人観光客を含む多彩な来街者が集う魅力ある街を目指す。	①動植物園の年間利用者数	92.8万人	95.6万人	83.2万人



主な事業効果

- 南公園においては、市民に親しまれる動植物園へと再生するために、エントランス複合施設の整備を行った。
- 舞鶴公園においては、大濠公園と舞鶴公園を一体的な利用を行うための用地取得を行った。